

九州大学工学部で世界に羽ばたく 専門力を培いませんか

C O N T E N T S

学科一覧・入学から卒業までの流れ	03	航空宇宙工学部	17
入試情報	05	量子物理工学部	18
工学部生からの一言メッセージ	06	船舶海洋工学部	19
庶務会	07	地球資源システム工学部	20
電気情報工学部	11	土木工学部	21
材料工学部	12	建築学科	22
応用化学部	13	サークル紹介	23
化学工学部	14	留学プログラム	24
融合基礎工学部	15	卒業生メッセージ	24
機械工学部	16	就職先リスト	25

九州大学工学部は2021年(令和3年)に学科改組と入試制度改革を行い、専門性に合わせて複数の学科を束ねて構成した5つの学科群(I-V群)に入学後の1年間の学びの後に専門を決定できるVI群を加え、従来の筆記試験により学科群ごとに選抜を行う一貫選抜、および各学科が修学に必要とする適性を学力だけでなく意欲や関心なども含めて総合的に判断して学科ごとに選抜を行う総合型選抜による入試制度を開始しました。また、学部の上士課程4年間に大学院修士課程2年間を加えた6年間の一貫した教育プログラムを新たに整備し、最先端の情報技術教育を取り込み、目覚ましいスピードで進展する技術分野の高度化や様々な変化に対応できる人材を育成する体制を整えました。今年度は、新制度になって最初の入学生が3年生となり、各学科での専門教育を本格的に開始したところです。

九州大学は、2021年11月に文部科学省より「指定国立大学法人」として指定を受け、世界の大学と伍していくことが求められ、社会や経済の発展に貢献する取組の具体的な成果を積極的に発信し、国立大学改革の推進役としての役割を果たすことが期待されています。指定国立大学法人としての本格的な評価を受け、指定期が近づいており、様々な観点から改革の成果を示そうとしているところです。九州大学工学部教職員はこのような状況に対応すべく全力で諸課題に取り組んでおります。

さて、九州大学は1911年(明治44年)に九州帝国大学工科大学として福岡市東区箱崎の地に創立され、1919年(大正8年)に九州帝国大学工学部、1947年(昭和22年)に九州大学工学部となり現在に至っています。この間、西日本の拠点大学として先進的な教育と研究を担い、これまで多数の卒業生を輩出してきました。卒業生の多くは国内外で先進的、指導的な立場として活躍されてきています。九州大学工学部は、今後も引き続き社会に貢献する人材、国際的な立場で活躍し世界を主導できる人材を、責任を持って輩出し続ける所存です。

九州大学工学部は、カリキュラムで示されている教育や研究室での先進的な研究活動はもろろんのこと、学生の自主的なものづくり活動のための創造工房への支援を行うとともに、北米と豪州への学生派遣・研修プログラム、英語授業のみでカリキュラムが構成されている学部国際コース、起業精神を育むアントレプレナーシップ教育プログラムなど、学生の自主的な学びを支援する多くのプログラムを備えています。さらに九州大学は、総合大学として様々な学問分野からなる教職員とそれらを学ぶ学生が学内外で多くの活動を実践しており、多様な学びと経験ができる可能性が豊富にあります。九州大学工学部に入学し、さらなる飛躍のチャンスを掴みましょう。



～100年の歴史と伝統、そして新キャンパスから未来へ～

1911年(明治44年)に創立された九州帝国大学工科大学が、工学部の起源です。100年の歴史と伝統を有する工学部は、戦前、戦後を通して、鉄道・土木・通信などの交通通信分野や鉱山・製鉄・造船・航空・機械製作・化学・繊維などの日本の礎となる基盤産業に多数の人材を輩出し、日本の発展を支えてきました。

1911年の発足以降、工学部は長きに渡って箱崎キャンパス(福岡市東区)に教育研究施設を置いてきましたが、大学のキャン

パス移転構想の第一陣として2005年(平成17年)10月から伊都キャンパス(福岡市西区)へ移転を開始し、2007年(平成19年)3月には建築学科を除く5つの学科が移転を完了しました。また、建築学科も2018年9月には、移転を完了しました。

自然豊かな広大な敷地の中に世界的にも最先端の施設や設備を有する伊都キャンパスは、工学部のこれから100年先につながる新たな歴史を刻む学び舎として皆さんを迎えてくれます。



「九州帝国大学工学部銘板」
1919年(大正8年)前身である工科大学が工学部と改称された際に製作された銘板が戦時中、多くの金属製銘板が戦時供出された中、現存する貴重な銘板。
2017年10月、工学部同窓会の基金により本銘板のレプリカのモニュメント(記念碑)を伊都キャンパスウエスト4号館横に建立。

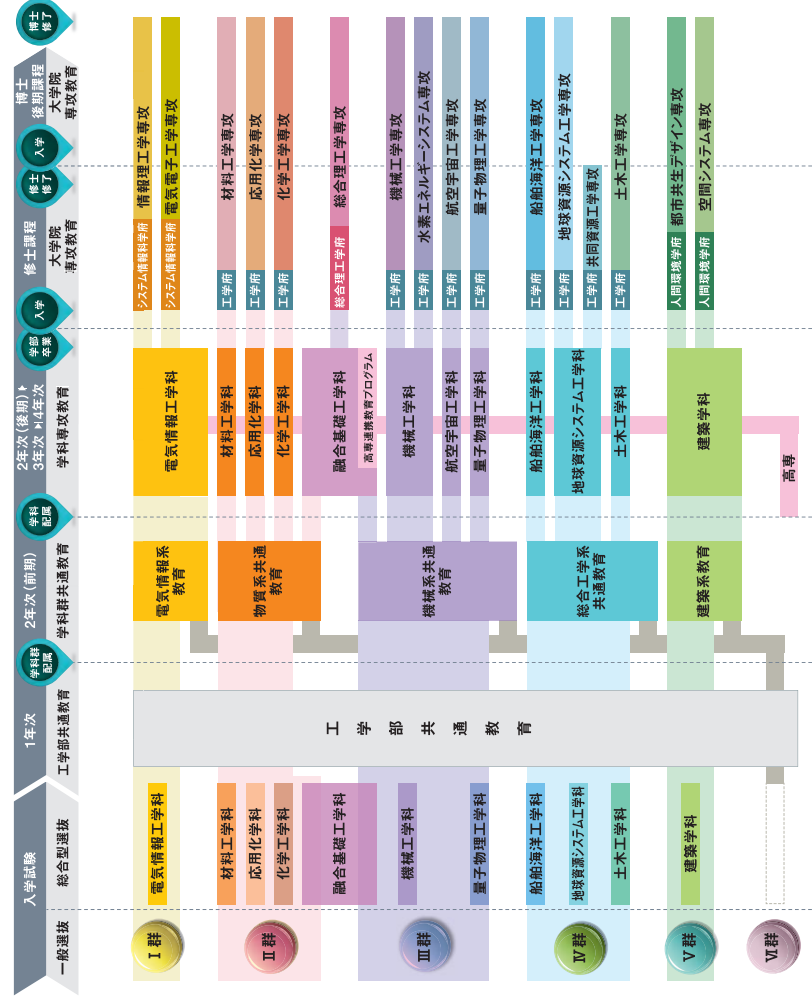
▲1914年(大正3年)九州帝国大学工科大学正門
▲箱崎キャンパス旧工学部本館

学科一覧・定員

群	学科	掲載ページ	一般選抜		総合型選抜	定員合計	教育内容
			前期日程	後期日程			
I	電気情報工学科 Department of Electrical Engineering and Computer Science	P11	98	17	8	123	電気情報工学を専門として新しい技術開発を行い、それを通して安全・安心・持続可能な社会に貢献する人材を計算機工学コース、電子通信工学コース、電気電子工学コースの3つのコースを設けて養成します。
	材料工学科 Department of Materials	P12			3	43	材料工学を専門とし、物質の特性が発現する原理と概念に基づいた新材料の開発により持続可能な社会の発展に貢献する人材を養成します。
	応用化学工学科 Department of Applied Chemistry	P13	123	21	4	58	化学を専門とし、物質の構造・性質・反応を原子・分子レベルで理解し、分子・分子を設計・操作して新物質の合成や物質の変換およびプロセスの開発などを行う。持続可能な社会に貢献できる人材を養成します。
II	化学工学科 Department of Chemical Engineering	P14			2	31	化学工学を専門とし、環境・エネルギー、新規機能性材料、バイオテクノロジー、高度先進医療、生産プロセスなどの分野において、地球環境との調和と人類の福祉に貢献できる人材を養成します。
	融合基礎工学科 Department of Interdisciplinary Engineering	P15			2	46	物質科学と材料工学を融合した物質・材料工学分野、または機械工学と電気電子工学を融合した機械・電気電子工学分野を主たる専門とし、情報科学を副専門としながら問題解決学習に重きを置いた教育により、環境・エネルギー問題に代表される多様な複雑な課題に対応し、解決することができる工学系型人材を養成します。
	機械工学科 Department of Mechanical Engineering	P16			7	108	機械工学を専門とし、主として物理法則の基礎理論を理解して、社会のニーズに応えるため、制約条件の下で環境への影響を考慮しながら機器やシステムを設計・製作し、あらゆるモノづくりに支える人材を養成します。
III	航空宇宙工学科 Department of Aeronautics and Astronautics	P17	146	25	0	21	航空宇宙工学を専門とし、力学を基礎とした工学理論や、航空宇宙機構特有のシステム工学に関連する基礎知識を習得し、新しい航空宇宙機の開発や運用環境拡大によって生ずる課題を発見・解決できる人材を養成します。
	量子物理工学科 Department of Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering	P18			2	30	応用物理、量子科学、原子核工学を専門とし、新しい量子現象の観察やその応用、量子ビームの開発と医療・生命分野などへの応用、新規材料開発、エネルギー開発、環境保安等へ貢献できる人材を養成します。
IV	船舶海洋工学科 Department of Naval Architecture and Ocean Engineering	P19			5	29	船舶工学、海洋工学を専門とし、グローバルな価値観に基づいて海洋と人類の共生への貢献を目的として、造船技術の継承・発展ならびに持続的な海洋開発を担う総合工学的な広い視野を持つ人材を養成します。
	地球資源システム工学科 Department of Earth Resources Engineering	P20	92	16	2	28	資源工学を専門とし、国際的に展開される地下資源の開発と供給、国内外における自然災害の防止技術の開発や地球環境への負荷を軽減する様々な技術の開発などを担う人材を養成します。
V	土木工学科 Department of Civil Engineering	P21			4	62	土木工学、環境工学を専門とし、構造物の設計・施工から、環境の保全、災害の防止に関する様々な知識を有して、自然や文化に配慮しながら安全・安心な国土を整備するとともに、国土の諸問題を解決できる人材を養成します。
	建築学 Department of Architecture	P22	46	0	6	52	建築学を専門とし、自身の知識と思考力で課題の本質を読み解き、変化化する社会情勢に応じた環境のデザイン力と理論に裏打ちされた技術・技能により都市・建築に関する課題の解決策を導き出せる人材を養成します。
VI	—		124	23	—	147	

※上記のほか、融合基礎工学科で4名5年度より定員を20名とする編入学試験を実施しています。

入学から卒業・修了までの流れ



2024年度の選抜方法

総合型選抜：書類審査、大学入学共通テストと面接（実技）等

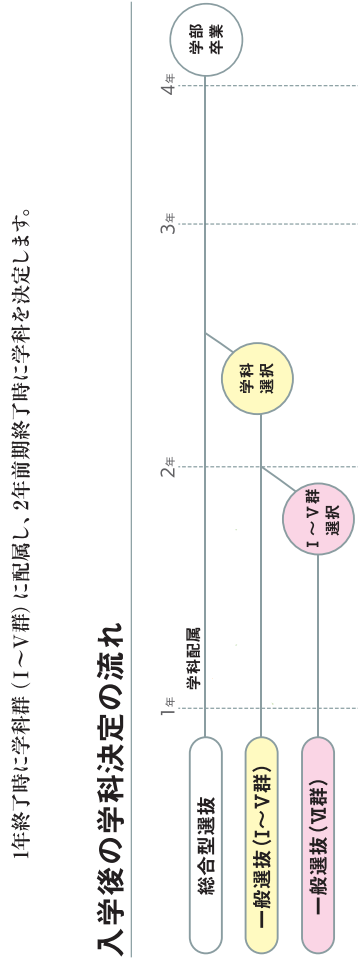
志望の動機や高校時代の活動および基礎学力を総合的に評価して選抜します。この選抜のみ、学科群ではなく学科ごとに選抜します。

一般選抜（前期・後期）：大学入学共通テストと個別学力検査

学科群（I～V群）ごとの選抜

I～V群：専門教育が必要とされる基礎科目が共通の学科群ごとに募集、選抜します。
VI群：入学時には学科群が未定の学部一括として募集、選抜します。
 1年終了時に学科群（I～V群）に配属し、2年前期終了時に学科を選定します。

入学後の学科決定の流れ



※ 学科群や学科の選択は、「志望」や「大学での授業の成績」等に基づいて行われます。

VI群とは

- ▶ 学科群（大括りの学問分野）を入学1年後に選択できる入試選抜の枠です。
- ▶ より多くの正確な情報に基づいて学科群を選択することができます。
- ▶ 1年次はすべての学科群で「工学部共通教育科目」を履修するため、I～V群入学の学生に比べて学習に後れを取ることがありません。

VI群受験を勧めたい生徒

物理系にも電気系にも興味がある！どちらに進もうかな...

将来はエネルギーの研究開発に携わりたい。そのためには、どのような分野に進んで行けばいいのかな？

計算科学をやってみたいし、物質のミクロな世界も学びたい。講義を受けてみてから学科を選びたいな

理工系が好きなんで工学部でいろいろ学びたいけど、どの分野でどのようなことを学べるの？

学科や専門分野のイメージが湧かない人

学部は分野が広くて、高校でも十分な情報を得るのが少し難しいから、またよく分かっていない人だよな。

図書館

サポートが充実した伊都協奏館

大学生活についての相談を、先輩から受ける機会が豊富です。イベントが定期的に開催されるほか、門限や消費時間などが定められていないなど比較的自由なことも魅力です。

照屋 悠みほ
I群2年生
物質科学工学科4年

サークル活動

学年・学部を超えた絆の強さがある柔道部

学年・学部からのアタセも強さや部内の明るい雰囲気が、柔道部の最大の魅力です。母国が異なる留学生が4人いて、さまざまな文化や言語にも触れることができます。

永永 美哉みづか
II群2年生
地球環境工学科4年

サークル活動

大学から始まった合気道

合気道は、相手の力を使い、相手を倒す武術なので、体が柔らかい方が有利です。合気道を通じて、相手と向き合えることが、私にとっての最大の魅力です。

金子 真帆まほ
I群2年生
物質科学工学科4年

先生

専門分野への深い理解力

先生方が自身が行っている研究内容について、専門知識が豊富で、学生にもわかりやすく、わかりやすい説明をしてくださります。先生方の専門分野に対する深い理解力を感じます。

山崎 美果みか
I群2年生
地球環境工学科4年

筑紫キャンパス

都心部へのアクセシビリティ

都心部へのアクセシビリティが非常に高く、バスや電車、徒歩で簡単にアクセスできます。また、周辺には多くの飲食店やコンビニエンスストア、カフェなどがあります。

高橋 佳夏あき
I群2年生
エネルギー工学科4年

研究室の魅力

研究に熱い情熱をかけている先生方

先生方が持っている情熱が、学生にも伝わり、研究の楽しさや面白さを教えてくれます。先生方の専門知識や経験が、学生にとっての大きな財産です。

宮部 司し
I群2年生
工学部機械工学科4年

学内飲食施設

し-Caféは小さくて落ち着いた雰囲気

し-Caféは、学内の他の施設と比べて、落ち着いた雰囲気の中で勉強や作業ができます。また、学内には多くの飲食店やコンビニエンスストア、カフェなどがあります。

高田 侑輝ゆき
V群2年生
地球環境工学科4年

国際色

コロナ規制緩和で国際色豊かに

コロナ規制緩和により、国際色豊かな環境が生まれ、学生と先生との交流が活発になりました。また、学内には多くの国際学生や先生がおり、多様な文化や価値観に触れることができます。

古川 翔あき
I群2年生
人間環境学府都市共生デザイン専攻修士課程1年

WELCOME MESSAGE

先輩からのメッセージ

先輩からのメッセージ

九州大学工学系の学部・専攻で学ぶ先輩たちが、キャンパスライフの魅力についてメッセージ。

図書館

中央図書館は多彩な利用が可能

中央図書館は、さまざまな種類の書籍や資料が揃っており、研究や学習に非常に便利です。また、貸出期間が長く、予約も簡単です。

松尾 素之介すけい
I群2年生
物質科学工学科4年

先生

学生の「学びたい」を応援してくれる姿勢

先生方が学生の「学びたい」を応援してくれ、必要なサポートを提供してくれます。また、先生方の専門知識や経験が、学生にとっての大きな財産です。

石井 寛基ひろき
I群2年生
地球環境工学科4年

サークル活動

大学でもっとできる！バスケットボール部

バスケットボール部では、大学でもっと活躍できるチャンスがあります。また、チームワークやコミュニケーション力が鍛えられます。

山本 南菜美なみ
I群2年生
物質科学工学科4年

学内飲食施設

飽きることのないCOOP/Main Dining

COOP/Main Diningでは、多様なメニューが揃っており、毎日新しいメニューが登場します。また、学内には多くの飲食店やコンビニエンスストア、カフェなどがあります。

東本 知志とも
I群2年生
システム情報科学府情報工学科専攻修士課程1年

国際色

サークルに多くの留学生が所属

サークル活動には多くの留学生が参加しており、国際色豊かな環境が生まれています。また、学内には多くの国際学生や先生がおり、多様な文化や価値観に触れることができます。

大矢 奏輝あき
II群2年生
地球環境工学科4年

サークル活動

化学研究部では知識を問わず楽しく

化学研究部では、知識や経験がなくても楽しく学ぶことができます。また、先生方の専門知識や経験が、学生にとっての大きな財産です。

藤本 一輝かず
II群2年生
地球環境工学科4年

伊都キャンパス

緑が美しい散歩でリフレッシュできる

伊都キャンパスには、美しい自然環境が広がっており、散歩やジョギングが楽しめます。また、学内には多くの飲食店やコンビニエンスストア、カフェなどがあります。

加藤 千晶ちるか
V群2年生
地球環境工学科4年

先生

先生それぞれが研究分野に熱意

先生方がそれぞれが持っている研究分野への熱意が、学生にも伝わり、研究の楽しさや面白さを教えてくれます。

碓井 和佳奈わかな
V群2年生
地球環境工学科4年

研究室の魅力

医療分野に役立つロボット開発も

医療分野に役立つロボット開発の研究は、非常に興味深い分野です。また、先生方の専門知識や経験が、学生にとっての大きな財産です。

菊池 利久としか
I群2年生
地球環境工学科4年

自衛隊の施設

機型試験を実施できる国内唯一の試験水槽

自衛隊の施設には、国内唯一の試験水槽があり、機型試験を実施することができます。また、学内には多くの国際学生や先生がおり、多様な文化や価値観に触れることができます。

梅本 航汰あき
I群2年生
地球環境工学科4年



先輩が語る群入試

九州大学工学部が実施している6つの群区分による一般選抜入試。学料を決めて受験する総合型選抜を含め、先輩方が自らの入試経験を振り返ります。

九州大学工学部を受験する際、いまの群や学料を選んだ理由

山本：まずは皆さんが九州大学工学部を受験するにあたって、どのような点に注目して現在の群や学部を選んだのかを教えてください。

照屋：私は中学校、高校の授業でプログラミングの楽しさを学びました。I群はプログラミングやその基本となるアルゴリズム論を学べる計算機工学コースに進むことができました。理由としては、九州大学の建築学

細谷：私は高校の授業で有機化学に興味を持って、物質科学がメインのII群を選びました。特に高分子関係は身近な材料に使われているので、それを学んでいきたいと思っています。

永安：私は総合型選抜で受験したのですが、融合基礎工学科は新しくできた学科と



聞き手
九州大学大学院工学研究部長
大学院工学部専任・工学部長
山本 元司

会が多いことに魅力を感じました。

藤本：工学部に入りましたが、大学を受験するにあたっては工学部以外に農学部や理学部も選択肢に入れて悩んでいた、ちゃんとわかっていない段階で決めてしまうのも違うなと思っていました。VI群であれば基礎を学びながら1年間選抜を保留できるとあって、VI群に決めました。

山本：VI群は、学部の意図としても「入ってからじっくり考えてください」という考えがあるわけですが、実際には入るのにセレクションがあって、2年目の群配属でまたセレクションがあるという厳しさがありますが、その点はいかがですか。

藤本：それほど厳しいとは思わなかったですが、(新配属の)群を選ぶときにネットとかを使って自分で学科の内容を調べるとにも限界があるので、VI群で研究室の紹介イベントを用意してくれたのはありがたかったですね。

山本：総合型選抜以外の皆さんは2年の後半から学科やコースの希望を決めることになりましたが、実際に希望する学科・コースをどのように決めてきたのか、どうしてそれを希望するのかを教えてください。

山崎：I群は電気情報工学1つなので、2年生に上がる段階でコース分けがあります。情報系の計算機工学コース、通信系の電子

通信工学コース、電気系の電気電子工学コースのうち、自分はどれをやりたいのかがありました。今でも情報に興味はありますが1年生の前期に研究室を回る機会があって通信の研究室ですでに6Gのことを研究していたりするのを見て、通信系をやってみたいなと思いました。

山本：私も長年ロボットの研究をしています。通信工学もロボットには欠かせない要素です。私は通信の最先端にはついていけないが(笑)、ぜひおもしろい研究に挑戦してくださいね。

大矢：現在は応用化学科の機能物質化学コースを希望しています。理由は、化学が好きで時に有機化学に興味があるからです。しかし、今、授業を受けている工学概論や実験の安全性を考えると、どれもこれもコースの紹介を聞く機会も多く、どれもおもしろそうだかなと思ってはつきり決め切れないというのが正直なところです。

井上：II群は機械工学科と航空宇宙工学科と量子物理工学科がありますが、僕は受験時にはどのコースに行きたいというのはありませんでした。1年間学んできて、いろいろな先生方や先輩方の話を聞いて、今は航空宇宙工学科に行きたいなと思っています。小さい頃から飛行機が好きだったので、空を飛ぶ夢を作ったりジェットエンジンの設計に

関わられたらなと思っています。

坂入：私は地球資源システム工学科に行きたくて九州大学に来ました。言い方は悪いかもしれませんが、資源は稼げそうだな、と(笑)。今、SDGsとかが叫ばれていますが、エネルギーを使うには資源が必要ですから、地球的な資源の使い方を考えたいです。地球資源システム工学科の研究室では資源リサイクルの研究を行っていますので、そういった方向を希望しています。

学科指定の総合型選抜を選んで受験した理由

山本：では続いて、最初から学科を希望して総合型選抜で受験した方に、その学科を選んだ理由を教えてください。

永安：さまざまな分野を総合的に学べるということで融合基礎工学科を選びましたが、学科の研究室には航空機のエンジンの実験を行っているところもあり、私は高校の時に燃料の燃焼に関する研究や実験をやったこともあったので、それが良かったのかなと思います。II群は入った後も大変で、学科選択の際のGPA(成績評価制度)の位置ととも関係するので、先に学科を選べれば少しはゆとりを持っているくらいなことに挑戦できるなと思いました。



一般選抜Ⅰ群'22年
山崎 実果さん (福岡県朝倉高等学校出身)



一般選抜Ⅰ群'22年
照原 悠らん (福岡県明善高等学校出身)



一般選抜Ⅵ群・Ⅱ群'22年
大矢 崇輝さん (岐阜県多治見北高等学校出身)



一般選抜Ⅲ群'22年
結合 佳音さん (三重県四日市高等学校出身)



一般選抜Ⅲ群'22年
井上 隆尚さん (福岡県修猷高等学校出身)



総合型選抜Ⅲ群'22年
永安 実玖らん (広島県広島中等教育学校出身)

※総合型選抜で建築工学科を受験

確井: 建築学科を選んだ理由としては、小さい頃からモノづくりに興味があって気づいたら建築学科に行こうと決めていました。ただ、入試準備をすらすらにあたってデザインをやりたいのか、構造をやりたいのか、設備をやりたいたいのかが決まらず、九州大学の建築学科ならどの分野も学べると思っていました。総合型選抜にしたのは特荷荷がって中学・高校にはほとんど通えず、学力面だけでは不安があったからです。学校に行けなかった間にイラストやスケッチ、モデリングをやっていたので、総合型選抜なら建築に反対する思いと兼った画力や企画力を生かせるだろうと思いました。

山本: 九州大学の建築系には芸術工学部の環境設計学科もありますが、どうして工学部の建築学科にしたのですか。

確井: 芸術工学部も少し考えましたが、入試の段階では構造系への興味が強かったので工学部の方を選びました。

高田: 昔からモノづくりが好きで、子どもの頃からレゴブロックで家を作っていました。高校生の時の英語の授業である建築家の宅を設計している話がありました。建築家として震災復興に関わりたいいなと思い、九州大学には熊本地震復興支援に関わるプロジェクトがあることも知って建築学科を選びました。

九州大学工学部を目指す人へ 先輩方からのアドバイス

山本: 受験生が興味を持つと思われる受験勉強関係の話題にも触れておきましょう。みなさんが九州大学工学部を目指して、どのような勉強をしてきたのか教えてください。

照原: 個別試験での配点は理系科目が中心なので、理系科目を重視して勉強しました。定期テスト前に学校で使われていた問題集を繰り返し解いて基礎を身につけていた。わからない問題に出会ったら、わからぬ原因をしっかりと突き止めて問題を解く努力をしました。難しい問題は基本問題の積み重ねですから、まずは基本をしっかり身につけることが大切だと思います。

結合: 私は高2の秋まで部活をやっていた、そこから受験勉強を始めました。共通模試ごとに目標を立てて結果を見てできなかった部分を分析して復習してきました。授業を聞いているだけでは解けないことも多く、演習を多くすることを意識していました。

井上: 僕は塾にも行っていたので、学校の授業で習ったことや演習を放課後にしっかりと復習して、それから塾に行くことも繰り返していました。大学受験の難しい問題はひらめきで解けるような人間ではないので、一度やった問題は間違わないようにしようと思っ復習に力を入れてやってきました。

坂入: 私は一浪して入ったのですが個別試験の対策に重きを置きました。

山本: 入試の問題、特に個別試験の問題は「こういうことを勉強して九州大学に入ってきてほしい」という我々の意思表示でもあり

加藤: 高校生の時は3年の夏まで部活をやっていた、文化祭とかに関わったこともあって結果的に浪人してしまいました。量が多すぎたため、1週間を1つの区切りで月曜から土曜までやることを決めて、やり残したことを理解が足りない單元を曜日によって復習していました。そうした毎日の積み重ねを大事にしてきました。

藤本: 高校の先生がすぐ丁寧な先生ばかりで課題のプリントばかりやっていた。試験に関係ない部分、例えば発見は自分の苦言を調べてモチベーションにすると、模範解答を自分の解答と比べて模範解答の方がスマートだったから「賢い、賢い」と褒められていました。

山本: では、九州大学工学部を目指す高校生の皆さんに勉強以外のアドバイスなどがあれば教えてください。

山崎: どの大学を受験しようかと考えた時に、日本全国の大学のホームページを見て勉強関係の内容を重視しました。大学に入る前から「自分はこういう勉強がしたい」と決まっていたので、あれこれ悩まずに勉強していきましょう。

大矢: 準備がしつかり考えているのですが、高校在学中に模試のコードが急に学科から群になって「なんだこれ?」と思いました。当

時はこれほど化学が好きになるとは思っていません。漠然と機械航空系に行こうと現時点は後期でⅢ群を受け、入学するか迷いました。Ⅲ群のことを知り、Ⅲ群に入ることになり、今こうして化学中心のⅢ群について調べることにしました。Ⅲ群に入ることになりました。Ⅲ群に入ることになりました。Ⅲ群に入ることになりました。

井上: 僕は高1の時から漠然とではありましたが「Ⅲ群がいいな」と思っていたので、それに向けて勉強することができました。早い段階からホームページをしっかりと見て、自分なりに決めることを決めたことが大事だと思います。

藤本: 山崎さんが言ったように、私は建築学科を受けるにあたって研究室のことをかなり調べて「この先生のこの研究はおもしろそうだな」というのをいくつかピックアップしました。研究室や行きたい先がある程度考えておくというのはモチベーションにも繋がると思います。

藤本: 入試には必ず選択が必要ですが、選んだ後は後悔がついてくると思うし、選んで悩んでいる人ほど後悔は出てくると思っています。でも「選択を間違えたかな」という後悔は出てくると思っています。でも「選択を間違えたかな」という後悔は出てくると思っています。

山本: 皆さんのお話は九州大学工学部を目指す高校生にとっても有意義なものになったと思います。



この座談会のロングバージョンは、
工学部ホームページにも掲載しています。



学生が紹介する動画サイトもあるよ!



人工知能
データサイエンス
量子コンピュータ

電気情報工学科

Department of Electrical Engineering and Computer Science



I 群

論理と物理を基に、賢さ、快適さ、速さ、強さ、安全安心を創る技術者と研究者の入口



超集積一級集積プロセスによる34bit microprocessor



空調間とH空室を組み合わせた共同作業支援の研究
未来の働きを可視化してCEPと安全・衛生

この学科のポイント!

私たちは、現在、人工知能と人間が共創する新たなデジタル社会の創出に向かって突き進んでいます。未来の社会では、人工知能、メタバース、ロボティクス、量子コンピューティング、スマートモビリティなどの魅力的な技術が融合した新たな生活様式を提供していることでしょう。電気情報工学科では、これらの技術の基礎となる、計算機、通信ネットワーク、電子材料・デバイス、電気エネルギーについて学びます。電気情報工学科では、数学、物理、データサイエンスの基礎を修得した後、計算機工学、電子通信工学、電気工学の3コースに分かれてそれぞれの専門性を深めて行きます。皆さんも電気情報工学科で学び、未来への扉を開いてみませんか。

私の研究内容
ソフトウェア工学・プログラミング言語研究室

東本知基さん
工学系情報科学部情報理工学専攻
修士課程1年
大分県高田高等学校出身

計算機工学コースではソフトウェアのみならずハードウェアについても学ぶことができ、コンピュータの構成要素を幅広く学習できる点が魅力です。
現在はソフトウェアポリポジティブマインニングという研究を行っています。ソフトウェアポリポジティブマインニングとは、ソフトウェアの開発履歴データなどを対象に分析を行い、ソフトウェア開発における有用な知見を得ることを目的とする研究分野です。例としてプログラムのどこにバグが存在するかを突き止める研究というのがあります。当然の結果が得られることもあれば、思いもよらない結果が得られることもあり、とても面白いです。



マテリアルデザイン
エネルギー
脱炭素

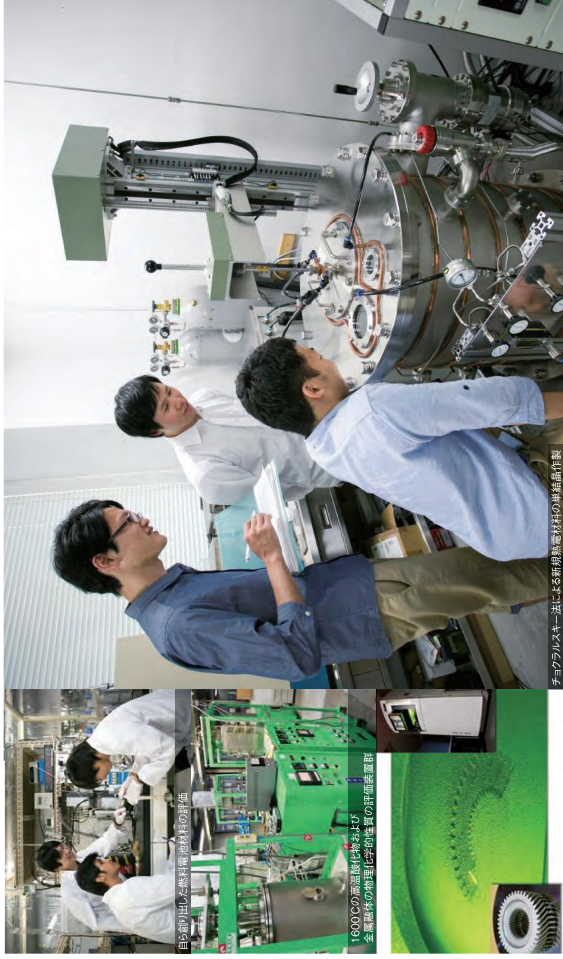
材料工学科

Department of Materials



II 群

物質を理解して原料を精製・加工し、性質を解明するとともに機能を引き出した無機材料を作り出す技術者と研究者の入口



自動作り出し装置で無機材料の研削
1800℃の高温炉から取り出した、全金属の物理化学的性質の研削装置



チタン合金一基による群組設置材料の群組製作
全周3Dプリンタにおける群組組形機構および欠陥形成メカニズムの解明とそれによる高性能部材の実現

この学科のポイント!

これまでの文明の発展は材料の進化に先導されました。例えば、自動車社会は鉄鋼材料の大量生産に、航空機による高速輸送はジュラルミンの発明に、情報化社会は半導体の発明に、といった具合です。同期表には118個の元素しか掲載されていませんにもかかわらず、これらの元素の無限とも言える組み合わせから、様々な性質をもった新材料が創り出されています。単に混ぜ合わせるだけでは無く、加熱、冷却、加工など様々な工程で新たな機能を附加していきます。材料工学科では、このように身の回りにあるあらゆる「モノ」のもととなる材料や素材を創り出すための基礎を学び、モノ(材料)づくりを通して社会に貢献できるのが大きな魅力です。

私の研究内容
機能材料工科学研究室

松尾素之介さん
物質科学工学科4年
徳島県香川大学附属大湊高等学校出身

材料工学は化学、物理、数学を合わせたような分野であり、モノづくりの基礎となる学問です。材料工学科の先方はとても熱心で、楽しいだけでなく、学生に理解してほしいと考えながら授業をしてくださっていることが伝わります。
現在所属している研究室では、車のエンジンのような内燃機関から捨てられる排熱の再利用を目的とし、熱エネルギーを電気エネルギーに変換することができきる熱電材料を研究しています。
将来的には、日本国内でもっと半導体を作ることができるよう、今学んでいることを活かして日本産業に貢献できればと考えています。



※2021年度学科改組のため、入学当時の学科名を表記しています。



化学で人々の暮らしを豊かにし、持続可能な社会の構築に資する学問を追究します



X線回折装置を用いた結晶構造の解析

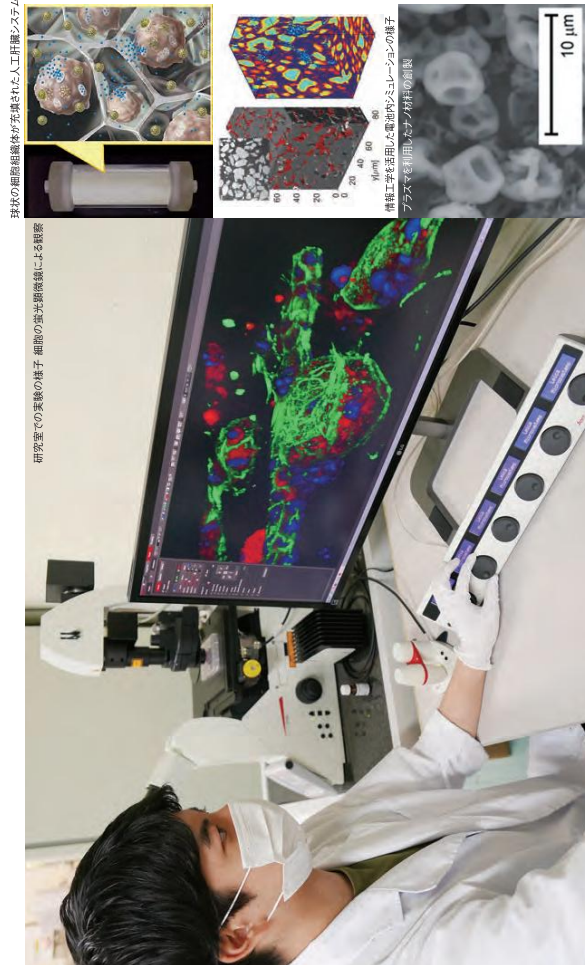
有機合成装置を用いた結晶構造の解析

有機社会物性材料の光学測定

X線電子分光装置を用いた電子状態解析

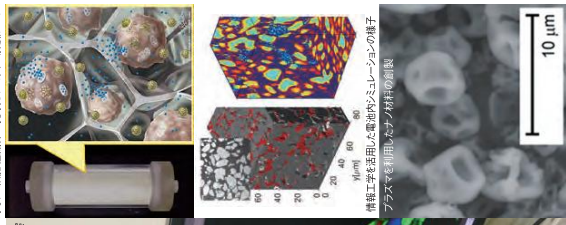


新材料 新現象を社会で実現化する力



研究室での実験の様子 細胞の蛍光顕微鏡による観察

球状の相転移微体が充填された人工骨髄システム



骨格工学を用いた電知ミミランの骨子

アラスマを用いたナノ材料の顕微鏡

10 μm

この学科のポイント！

応用化学は物質を自在に設計し、新しい機能と価値を創造する学問です。様々な分野と融合しながら、社会を支える学問として益々発展しています。本学科は機能物質化学コースと分子生命工学コースで構成されており、化学の分野を網羅する基礎科目に加えて、世界トップクラスの研究成果を生み出す教育・研究環境を整え、充実したカリキュラムを用意しています。機能物質化学コースでは主に高分子材料・無機材料を用いる触媒材料、複合素子材料、エレクトロニクス、ナノデバイスおよびそれらを支える理論解析を研究し、分子生命工学コースでは分子触媒、分子集積材料、エネルギー変換材料やバイオ医用材料、ヘルステクノロジーを研究しています。

私の研究内容

金子実和さん
物質科学工学科4年
徳島県立栗原女子学園高等学校出身

フォトリソグラフィは、リモートコントロールや自動車のセンシング技術に用いられており、光を電気に変換する役割を持っています。私が研究しているのは、この中でも眼に見えない近赤外領域の光を感じることができるフォトリソグラフィです。

自動車の自動運転の実現にもこのようなフォトリソグラフィは重要になってきていますが、既存のものは無機材料でできており、環境への影響や製造プロセスの複雑といった課題を抱えています。そこで、私は有機材料を用いることで、これらの課題を解決でき、さらに私たちの日常生活への応用の幅を広げられるようなフォトリソグラフィの作成を目指しています。

※2021年度学科改編のため、入学当時の学科名を表記しています。



私の研究内容

山本 菜美さん
物質科学工学科4年
熊本県熊本高等学校出身

AIによる深層学習技術を用いた顕微鏡位相画像から簡易的にハイスループットな筋管の評価法の開発を試みています。骨格筋は人の生命維持において重要な役割を果たしていますが、重症筋疾患に対して根治できるほどの有効な治療法は確立されていないため、再生医療・薬剤スクリーニングに向けた骨格筋の評価システムを構築することが求められています。筋管の機能評価では電極からの電気刺激などを利用して収縮活性を評価してきましたが、最終的に収縮機能を測定する必要があり手間と時間を多く要します。本研究ではいくつかの観点でAIに学習させることで筋管の機能を顕微鏡位相画像のみで評価しようとしています。

※2021年度学科改編のため、入学当時の学科名を表記しています。

この学科のポイント！

化学工学は、基礎研究を実社会で実用化するために欠かせない学問です。バイオテクノロジー、ナノテクノロジー、環境・エネルギー、宇宙技術などの幅広い分野の発展に力を発揮しています。生命工学分野では、遺伝子工学を活かしたバイオ医薬品生産や再生医学技術の開発など、工学的なバイオテクノロジーが展開されています。環境分野では、アラスマを用いた廃棄物処理技術、燃料電池、二酸化炭素分離など、実社会の問題を解決する先端研究が進められています。情報工学を活用し、化学プロセスをシミュレーションによって高性能化する研究も行われています。本学科では、様々な課題に適応できる化学工学の基礎を学ぶことが最大の魅力です。

船舶海洋工学科

Department of Naval Architecture and Ocean Engineering



HPIはこちら



動画はこちら

船舶再生可能エネルギー
カーボンニュートラル型輸送船
生産DX(デジタルトランスフォーメーション)

IV群

持続的な海洋開発を担い、 海と人類の共生に貢献できる技術者・研究者への扉



洋体式海上風力発電施設

高速回流水櫃を使った船体抵抗試験

船体周りの流れのシミュレーション

この学科のポイント!

国土を海に囲まれた日本の発展には、社会、生活を支えるエネルギー・資源の調達や輸出のための海上輸送、資源開発など海洋の有効利用が必要です。本学科は構造、流体、材料、制御等の基礎的な分野だけでなく、巨大な船や海洋構造物を開発、設計・生産する総合工学を学ぶ特色あるカリキュラムを有します。実地で学ぶ工場の見学・実習、船一隻を設計する演習など多面的に学びます。コンピュータを使ったプログラミング・シミュレーション・設計・AIなどIT教育も豊富です。卒業生への評価は高く、求人数は多く、輸送機器・重工業の他、多様な企業や研究機関に就職しています。多くの学生が大学院に進学し、高度な勉学と研究に励んでいます。

私の研究内容

梅本 航汰さん
地球環境工学専攻4年
福岡県城南高等学校出身

船舶の安全航行に必要な運動性能は船舶の種類や船体形状によって大きく異なります。また、航行海域の環境や風や波等の外乱にも大きな影響を受けます。私の所属する研究室では、さまざまな環境条件下において船舶を安全に運航し、海難事故による人命の損失や地球環境の汚染を防止することに焦点を当て、流体力学や制御工学を基礎とする理論計算ならびに大型試験水槽において実施する模型試験に基づいて船舶や浮体構造物の流体力学的特性と運動性能の推定法を確立する研究を行っています。それらに応用することにより、周囲の環境条件に基づいて運動を適切に制御し、自律航行する船舶の開発を目指しています。

*2021年度学科改組のため、入学当時の学名を記載しています。

地球資源システム工学科

Department of Earth Resources Engineering



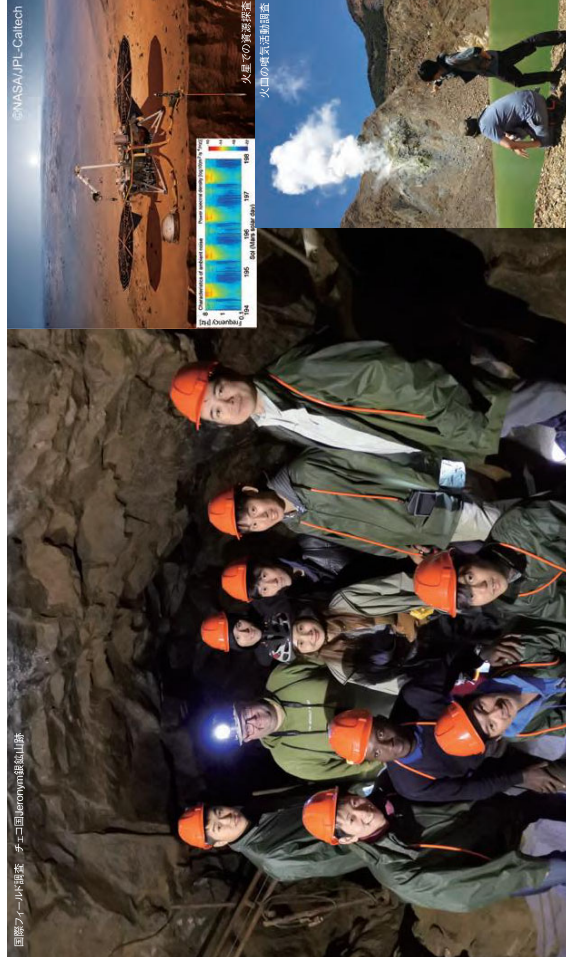
HPIはこちら



動画はこちら

資源・エネルギー
地球環境
国際性

地球規模の資源・エネルギー・環境問題の解決に向けて 世界トップレベルの教育・研究拠点で学ぶ



国際フィールド調査、チチカカ湖沼系観測山脈

MASAVIPI-Callech
火星での探査調査
火山の噴火活動調査

この学科のポイント!

地球資源システム工学科では、金属鉱物、石油・天然ガス、石炭、地熱など、私たちの生活を支える資源の成因、探査、開発、探採、処理、リサイクルを幅広く学び、それらの新技術を研究できます。また、CO₂回収・利用・地中貯留や石炭/石油からのフルー水素製造技術、さらには深海底(メタンハイドレートやレアメタル)および月や火星(水やレゴリス)など、人類のフロンティアにおける資源探査・開発技術も研究できます。3年次の国内外インターンシップでは、スケールの大きな資源開発の醍醐味を体感できます。留学生との交流や海外でのフィールドワークなどを通じて言語力や国際性を伸ばし、世界で活躍するための素養を身に付けられます。

私の研究内容

石井 琢真さん
工学府地球環境工学専攻 修士課程1年
福岡県筑業丘高等学校出身

月や火星にある資源の開発に関する研究をしています。資源を開発するには地面に穴を掘る必要がありますが、その際、地球では砕かれた岩石などを除去するためにいくつかの薬剤を混ぜた水を用いています。月や火星では水の利用が制限されることを考えられ、力が小さい分、ドリルを地面に押しこむ力が小さくなって掘る力が弱まってしまいます。それに加えて、地球より機械を動かすためのエネルギーを得るのが難しいと考えられます。このような課題がある中で、より効率的に月面や火星面を掘る方法を考える研究をしています。将来は大学で学んだことを少しでも活かせるよう、資源に関わる職に就きたいと考えています。

*2021年度学科改組のため、入学当時の学名を記載しています。



HPははこちら ▶



WeChat

動画はこちら ▶



YouTube



HPははこちら ▶



WeChat

動画はこちら ▶



YouTube

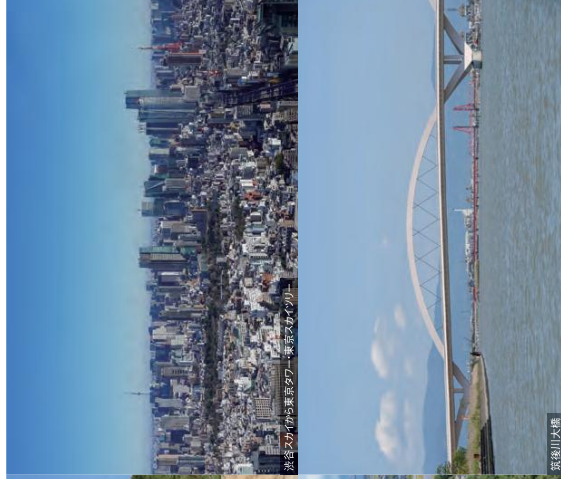
IV 群

サステナブルで豊かな国土や都市を構築するための技術を学ぶ



土木系土木系2019年7月10日撮影による豊田の自動車工場

自然共生を目指す九州大学伊都キャンパス



渋谷が広がる東京タワー・東京スカイツリー

筑後川大橋

住宅から都市に至る人間の多様な生活に密着した空間を造り出す建築家や技術者、研究者を養成します。



IR九州住宅アカデミー

IR九州住宅学部建築学会

この学科のポイント！

土木工学(Civil Engineering)は、私たちが安全・安心で幸福(Well-being)な暮らしを営むために不可欠な、都市、道路、橋、堤防、上下水道、鉄道、港などの国土基盤を整備・保全するための幅広い学問です。土木技術は人類の歴史とともに発展してきました。激甚化する災害への備え、グリーンインフラを活用した都市と自然の調和、ビッグデータの活用や自動運転社会への対応など、新しい技術を取り入れ、50年、100年後の未来を見据えた持続的で豊かな国土や都市の構築を目指しています。

環境・社会・経済の問題が山積した変化の激しい現代社会で、幅広い技術力と多様なアイデアを結びつけ、市民の暮らしを豊かにできる土木技術者が必要とされています。



私の研究内容

地盤工学研究室

パーカー 舞柳さん
地球環境工学科 4年
福岡県宗像高等学校出身

最近自然災害が増えていることもあり、工学の力で地球をより良い場所にする勉強をしたいと思っています。

私が所属している建設都市工学コースでは主に土木の勉強をしています。このコースでは5メートルほどの橋を自分たちで設計して作ったり、コンクリートを壊す実験を行ったりと大規模な授業が多いのが特徴です。また、まちづくりの授業では実際に福岡県直方市に行き、先生や地域の役員、地域に住んでいる方々とともに地域活性化のための活動を行います。キャンパス内だけでなく、現地向向いて地域の方々と交流する機会があるという点もこのコースの魅力です。

*2021年度学科改編のため、入学当時の学科名を表記しています。

この学科のポイント！

建築学は技術的問題から社会的・文化的問題まで広い領域に関わっており、建築・都市の分野に携わる者には、多様な要素を総合的にまとめる能力に加えて、芸術的な造形能力が求められます。建築学科では、建築・都市の文化と歴史を顧み、建築・都市を理論的に計画し、具体的な形に設計する方法、快適で健康的な空間をつくる環境技術、丈夫な建物をつくる構造技術、建築の材料と施工技術などについて研究と教育を行っています。

本学科のカリキュラムは、建築学に関する諸知識を体系的・理論的に学ぶ講義、具体的なデザイン手法を習得する設計演習、専門知識を体得する実験などでバランスよく構成され、国際社会の第一線で活躍する人材を養成します。



私の研究内容

都市設計研究室

古川 翔さん
人間環境学研究所
都市共生デザイン専攻 修士課程1年
岡山県岡山大学中等教育学校出身

建築学科には、建築の意匠や構造、環境に加え、都市計画やまちづくりの分野の先生方も多く在籍しています。私は、入学時に考えていなかった都市デザインに興味を持ち、現在は、建物周辺の環境や都市と人間の関わりを考える研究室に所属しています。都市の未来について考えるためには、机上の講義や研究だけでなく、現実のまちを観察し、人々の声に耳を傾けることが大切です。自分たちの提案を街の公共空間を対象に社会実験として実現し、都市に人々の居場所を生み出す可能性と難しさを肌で感じました。

PLANET-Q

「放課後は、宇宙開発を」をモットーに、宇宙開発に関する技術開発や教育活動を行っています。プロジェクトには安価かつ安全性の高いハイブリッドロケット、成層圏でミッションを行うスペースバルーン、自律制御で飛行するCanSat、自由度が高いモジュールロケットなどがあります。

- 2022年6月 産学宇宙イベント Autodesk賞、団体賞最優秀賞
●2023年3月 産学宇宙コンテスト 賞状、賞状、HUIエプロン、スペース入賞受賞
●2023年3月 モジュール級実験、スペースバルーンの放球、回収に成功

ロボコンチームAKURT

九州大学の有志学生によるロボコン競技チームです。メインとなる活動はロボットの制作で、設計から制御まですべて自分たちで行います。例年5月から6月に開催されるINHK学生ロボコンへの出場をはじめ、夏休みには「九州要ロボコン」を主催、秋の「インバー」丸でロボットの制作を行います。

- 2022年 8月 九州要ロボコン2022 優勝
●2022年 9月 第12回キヤロロボコンコンテスト 決勝ノーマント準優勝
●2023年 6月 NHK学生ロボコン2023 本戦出場

Study abroad【工学部生のための留学プログラム】

ELEP(イーレップ):Engineering Leaders English Program

米国カリフォルニア州サンゼビエル州立大学「Gateways」での英語研修を中心に、起業家やベンチャーキャピタリストの講義やシリコンバレーにある大学やハイテク企業等へのフィールドトリップ等に参加しながら英語力をラッシュアップする工学部学生向けの5週間の短期プログラムです。英語力アップに加え、アントレプレナーシップ(起業家で、アントレプレナーに触れ、イノベーション精神)の実感に魅れ、イノベーションが起る仕組みを学ぶことができ、(※コロナウイルスの影響により、2022年度はオンラインの3週間と短期留学2週間のハイブリッド型で実施)

O?PEC(キューベック):Gshu-Queenland Program for English Communication

オーストラリア、ブリスベンにあるクイーンズランド大学に所属しているUQ-Collegeにおいて世界各国からの留学生に混じって英語研修、ならびにクイーンズランド大学の工学系特別講義や研究施設訪問を体験できる5週間の短期プログラムです。実践的な英語力を向上させるとともに、グローバルマインドの涵養や長期間の学友関係に向けたモチベーションアップも目指します。(※コロナウイルスの影響により、2022年度はオンラインで実施、2023年度は留学再開予定)

鳥人間チーム

人力飛行機で飛距離を競う「鳥人間コンテスト」での優勝を狙い、航空機を製作しています。空力・構造の設計や新機体(スバル)作り作業など、40年以上続く伝統の技術と新しいアイデアを融合させながら、日々創出された工夫を凝らしてつぎつぎ動いていきます。NC熱線ブラウンスといった加工機を自在に使い、自らの手で制作した機体のフライトは、製作者にとって生誕祝い得ぬ経験となるはず

- 2019年 鳥人間コンテスト 第2位
●2021年 鳥人間コンテスト 第2位
●2022年 鳥人間コンテスト 第9位

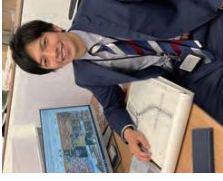
ヒューマンイデオジェクト

二足歩行動ロボットの技術開発大会であるROBO-ONEでの優勝を目指し、日々活動に取り組んでいます。基本的にはロボットの設計・加工・制御を一から行っており、ロボットの構造、設計、回路、プログラミングといった様々な分野の知識を身につけることが特徴です。普段の大学生活では決してできない貴重な体験ができるサークルです。

- 2022年 ROBO-ONE Light 代表選考会 in ロボファクトベントS
●2023年 第28回ROBO-ONE Light 最終日独立大会 準優勝
●2023年 第40回ローマンイデオジェクト 優勝 準優勝

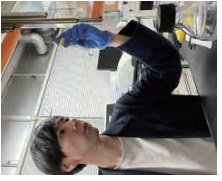
MESSAGGE OB・OGメッセージ

徳丸 祥一朗さん
日本工学院株式会社 コンサルティング事業統括本部
交通運輸事業本部 道路事業部 道路橋梁整備部
(工学部 建設システム工学専攻 2012年3月修了 工学部 地球環境工学科 卒業)



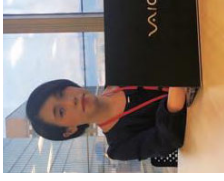
開発コンサルタントとして、発展途上国における道路・橋梁整備事業の計画、調査、設計、施工監理業務を行っています。現在は、アフリカのケニアに架かる長大橋の詳細設計業務に従事し、総勢70名を超えるチームのリーダー兼アドバイザーとして業務全体を統括する役割を担っています。相手国政府に対して英語で橋梁設計技術を説明する機会が数多くあり、大学院修士課程で学んだ英語でのコミュニケーション能力がとても役立っています。

中本 正彦さん
国立大学法人大阪大学
大学院 工学研究科 応用化学コース 有機工業化学領域 助教
(工学部 化学システム工学専攻 博士後期課程2016年9月修了 工学部 電気情報工学科 卒業)



これまでにない新たな機能を持った高分子ハイオマテリアルの開発に関する研究を行うとともに、研究室で学生の研究指導も行っています。学生と日々のディスカッション、試行錯誤を繰り返し、新たな現象を発見することややりがいを感じます。九州大学では、研究の基礎となる哲学、知識、技術を培うことができ、自然量から設備も充実した伊豆キャンパスは、のびのびと勉強を持つて研究に打ち込める素晴らしい環境だと思います。

国生 昌美さん
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
九州支社 総務企画部
(2003年3月修了 工学部 地球環境工学科 卒業)



建設コンサルタントとして、主に、道路事業に関する環境影響評価、生活環境保全、自然環境保全の業務を担当しています。公共事業(インフラ整備)に関わると考え、社会的に役に立っていること、建設現場では課題解決が求められますが、課題に対して問題意識を洗い出し、解決策を検討するという大学の研究での取り組みがやりがいを感じています。今の仕事にも生かされています。

安部 晋一郎さん
国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
原子力科学研究所 原子力基礎工学研究センター
化学・環境・放射線デザイン・放射線環境解析グループ
(総合理工学専攻 2019年3月修了 工学部 エネルギー科学科 卒業)



目に見えない放射線の挙動を解析する計算コードPHITSの開発に携わるとともに、放射線が電子機器に影響について研究しています。PHITSは原子力分野に限らず、医療や宇宙・地球惑星科学など幅広い分野で利用されています。開発に携わることで多くの方々に貢献できる点が魅力です。現在の研究は九州大学で取り組んだ研究テーマの発展形であり、大学で得た知識や技術、人との繋がりは現在の仕事の礎となっています。

大西 俊輔さん
株式会社OPS研究所 代表取締役社長 CEO
(工学部 航空宇宙工学専攻 博士課程2013年9月修了 工学部 機械航空工学科 卒業)



福岡で宇宙開発を行っているOPS研究所は、恩師である九州大学名誉教授の八坂智雄先生等が宇宙産業を根付かせるために2005年に福岡市に創業しました。私はその恩師の思いを引き継ぎたく、OPS研究所に入社し、半年後に代表取締役社長として会社を継ぎ、技術面より経営を行うとともに人工衛星開発プロジェクトの意思決定とその実行を行っています。大学、大学院で学んだことすべてが現在の仕事に生きています。

ダニレフスキ 絵里子さん
Inhabit Australasia Pty Ltd
Building Physics + Sustainability
(人間環境学専攻 空間システム工学専攻 2012年3月修了 工学部 建築学専攻 卒業)



建物の開発や再開発に関し、環境や人に配慮した設計・仕組みを、建物のエネルギーシミュレーション、光環境の解析、熱環境解析などを元に提案するとともに、最近ニュージーランドのオークランドやカーボーンニュージーランドに関するコンサルティングなどにも取り組み始めています。総合的な見方から意見、提案の伝え方は学生時代に見方や意見、提案のし、先生方、先輩、同級生、後輩との繋がりは今でも意見交換や学びの場となっています。

Facts and Figures of School of Engineering, Kyushu University

(As of May 1, 2023)


The number of students



The number of students
3,457

The number of female students **359**

The number of University students **11,708**



83.3%
enters graduate schools.

**QS World University
Rankings by Subject in 2023**




Engineering - Mineral & Mining
Chemistry

Two subject areas ranked in the top
100
in the QS World University
Rankings by Subject in 2023


Rate of employment

Graduate School of Engineering



99.0%

Number of faculty members



276


Total number of
Kyushu University faculty members
2,307



Inbound

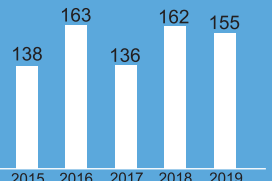
Number of international students
175

Number of countries/regions of
international students
29



Outbound


Number of students studying abroad



Year	2015	2016	2017	2018	2019
Students	138	163	136	162	155

Rate of employment


Graduate School of
Information Science and
Electrical Engineering



97.6%

Ito Campus site area

FUKUOKA PayPay Dome



× **39.3**

YAHUOKU! DOME = 69,130m²


Area of Ito Campus
2,717,130m²

The largest Campus in Japan

Total area(including affiliated facilities)
75.81 million m²


**Fukuoka,
as revealed through data**
by Fukuoka City official website

The shortness of the
access time to the airport



1st

The number of
protected trees




1st

The shortness of the
access time to the airport
Among 48 cities
in the world

The number of
protected trees
among ordinance-designated
cities


**Fukuoka,
as revealed through data**
by Fukuoka City official website

Number of international
students in
Fukuoka Prefecture



3rd
nationwide
As of 2018

Consumer price
index regional difference
and retail prices



1st
among 21 major cities
As of 2022

**Fukuoka,
as revealed through data**
by Fukuoka City official website

Ranking of towns people
want to live in



1st
japan
As of 2022



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

九州大学工学部
CAMPUS GUIDE 2023

発行 / 令和5年7月
編集・発行者 / 九州大学工学部
<https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/>



九州大学工学部 伊都キャンパス
〒819-0395 福岡市西区元岡744
TEL 092-802-2728

九州大学工学部 筑紫キャンパス
〒816-8580 福岡県春日市春日公園6-1